

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
図学・基礎デザイン											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	三矢 雅人、中澤 えり			実務 経験	有	職種	建築設計/建築設計事務所主宰				
担当教員紹介											
<p>建築家のもとで10年間設計監理の修業をしたのち独立し、デザイン事務所を主宰。リノベーションや住宅、オフィスビル等の設計監理などに関わる経験を持つ。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、基本的な技術をステップアップしながら、繰り返し練習することで身につけることが目標になる。 なお学生には得意分野・不得意分野があるので、習得スピードに差が出ることもある。 得意な学生にはステップアップをした課題に取り組み、より多くの技術を習得することを意識してもらい、あまり得意ではない学生には、ひとつひとつの課題にじっくりと取り組んでもらい、理解を深めることを意識し、取り組んでもらいたい。</p>											
到達目標											
<p>基本技術を、練習⇒習得という過程を踏むことで、これからの「実践の場(=実務や課題)」で活かせる技術を身につける。 基本技術を繰り返し練習する⇒作業スピードが上がる⇒作業時間を短縮できる⇒実践で活躍しやすくする。</p>											
授業方法											
<p>目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 50% 課題を総合的に評価、平常点の内容とした「提出状況」も評価する 平常点 50% 授業参加度、授業態度による評価、課題提出状況(遅延提出)も評価する</p>											
履修上の注意											
<p>この授業では、課題を通して訓練することが重要である。そのため、授業に出席した上で課題に真面目に取り組むことが大切になる。 (理由のない遅刻や欠席は認めない。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。) また将来を見据え課題に取り組んでもらうためには課題をただこなすのではなく自分で考えることが重要になる。</p>											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	イントロ/模型製作の練習1 立方体の製作: 建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習										
第2回	模型製作の練習2 立体製作: 建築表現で重要となる建築模型を作るための「基本」を学ぶための練習										
第3回	図面の基礎知識を学ぶ 立体を通して、「平面図」・「立面図」・「断面図」はどういうものかを理解する										
第4回	空間をデザインする1 光の空間(スタディ): 立方体の内部空間をデザインする(試行錯誤していく楽しさ)										
第5回	空間をデザインする2 光の空間(スタディ): 立方体の内部空間をデザインする(試行錯誤していく楽しさ)										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
図学・基礎デザイン	
第6回	空間をデザインする 2 光の空間（スタディ）：立方体の内部空間をデザインする（試行錯誤していく楽しさ）
第7回	立体の表現方法の練習 1 アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習
第8回	立体の表現方法の練習 2 アイソメ・アクソメ：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習
第9回	立体の表現方法の練習 3 パース（1点透視図）：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習
第10回	立体の表現方法の練習 4 パース（1点透視図）：図面(2D)上で立体を表現するための手法を学ぶための練習
第11回	作図の練習 1（平面図） 平面図の写図：リアルな建築の平面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習
第12回	作図の練習 2（断面図） 断面図の写図：リアルな建築の断面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習
第13回	作図の練習 3（立面図） 立面図の写図：リアルな建築の立面図を写し取ることで、作図手法を身につける練習
第14回	特別演習 1 実験的な手法で学ぶ 1
第15回	特別演習 2 実験的な手法で学ぶ 2